

感染免疫・ワクチン/ Infection Immunity・Vaccine

宿主-病原体間の相互作用である感染免疫応答については、病原体、宿主双方からのアプローチによる理解が重要である。本シンポジウムでは、HIV 感染症のみでなく、他ウイルス感染症も含めて、ウイルス感染症に対する感染免疫応答、またワクチン開発について最新の知見をご紹介いただき、理解を深めることを目的とする。

座長

近田 貴敬 先生

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

山本 拓也 先生

医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト

講演①

上野 貴将 先生

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野

HIV-1 の多型性から宿主との関連性を探る

講演②

Victor Appay 先生

ImmunoConcept laboratory, University of Bordeaux, France

Superior priming of CD8+ T cell responses by HIV-2 compared to HIV-1: lessons for improved vaccine efficacy

講演③

石井 洋 先生

国立感染症研究所 エイズ研究センター

感染免疫学的知見を元にした効果的なHIVワクチン開発に向けた抗原設計

講演④

高橋 宜聖 先生

国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター

新型コロナウイルスの変異と免疫

11月21日(日) 16:00~17:30(90分)

第2会場(グランドプリンスホテル高輪 B1階 クラウンルーム)

本セミナーは、ハイブリッド形式(現地開催+WEBでのライブ配信)にて開催いたします。